

## まえがき

私が今回この本を出版するにあたり驚きがありました。また同時に、自分を見つめることができました。

まず、驚きについては、二つあります。

世の中、SNSが流行し、誰もが好きに、半ば自己満足程度に使っているものを見て、興味関心を持つてくださったことが一つ目の驚きです。今回、編集担当の野田さんからメールで、連絡をいただきました。このとき、ちょうど来期に向けていろいろな話が重なったこともあり、私自身も心にゆとりがあったのかもしれませんが、実は話を聞こうという程度でした。私の知人でも本を出した方がいますが、すごいなとか思っています（私には、書く才能ゼロですし）。ただ、話を聞くのも社会勉強だと思い、野田さんにお会いすると、まだ若いのに「私は、この企画をぜひ社内を通して一緒に本を作っていきたい」という思いが

とても強い方でした。私は、その思いをどうにか実現させてあげたい！ と思いましたが。私の日常のつぶやきに共感を持ってくれた方が偶然出版社にいて、編集を担当しているということに過ぎません。話をいただいてから数名の知り合いに話をしたところ、なぜかみんな反対をせず、「すごい、いい機会だからやってみなよ！ 何かあれば手伝うよ！」という返事が二つ目の驚きでした。私自身、今までの人生を振り返っても、堂々と誇れる人間ではないですし、「私のようにこうしなさい！」とか、言えるようなこともない。正直、本なんて書く機会はないと思っていました。いざ、社内プレゼンが通ったという連絡をいただいてうれしく思った反面、リアルに私の何を伝えればいいのか……といういろいろ考える日々でした。

私もいろいろな本を手にしませんが、「私は、こんなことをやったから成功した」とか、「これだけ苦労したから今では……」というような成功体験記が多い気がします。確かに一つのヒントにはなるかもしれませんが、それではなかなか行動に

は移せません。所詮、私がそんな成功体験が書けるわけでもないですし、何をすればいいのだろう……（悩みの中にも、こういったきっかけを冷静に振り返ることができました）。

この本を読んでくださった方それぞれの人生を私が決めることはできません。仮に私と同じことをしたからといって、同じように歩めるわけでもありません。ならば、内容的にも、「こうしたほうがいい」などとノウハウを教えるものではなく、読み終わったときに、それぞれが、どうすればいいのか、と自分に向き合っているだけのもを書こうと決めました。

【仕事】だけ、【プライベート】だけではなく、トータル的に考えてどうしていくべきなのか、短期的・長期的に私だったらこう考えるといふヒントを少しずつお伝えし、普通の社会人の一人である私の背伸びをしない生き方・考え方を述べていきたいと思えます。

このような機会をくださったことを心より感謝いたします。